

京都大学教育研究振興財団助成事業
成 果 報 告 書

令和4年 4月 11日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団

会 長 藤 洋 作 様

所 属 部 局 東南アジア地域研究研究所

職 名 准教授

氏 名 大野 美紀子

助 成 の 種 類	令和3年度 ・ 研究活動推進助成			
申請時の科研費 研究課題名	アジア仏教圏における越僑コミュニティの研究ーベトナム仏教寺院建立経緯を巡って-			
上記以外で助成金を 充当した 研究内容				
助成金充当に関 わる共同研究者	(所属・職名・氏名)			
発表学会文献等	(この研究成果を発表した学会・文献等) The International Convention of Asia Scholars (ICAS12) 東南アジア学会第103回研究大会 『ベトナム人と安南派仏教(アンナムニカーイ)の来泰、およびラッタナコーシン王朝初期におけるワット・サマナーナムポーリハーンの建立』Thanyathip Sripana著・西田昌之訳(日ASEANプラットフォームWorking papers No.13)			
成果の概要	研究内容・研究成果・今後の見通しなどについて、簡略に、A4版・和文で作成し、添付して下さい。(タイトルは「成果の概要／報告者名」)			
会 計 報 告	交付を受けた助成金額	980,000	円	
	使用した助成金額	980,000	円	
	返納すべき助成金額	0	円	
	助成金の使途内訳	費 目	金 額	
		研究補助謝金	224,900	
		印刷製本費	120,105	
		国内調査旅費	246,891	
その他(委託・学会参加費等)	388,104			
当財団の助成に ついて	(今回の助成に対する感想、今後の助成に望むこと等お書き下さい。助成事業の参考にさせていただきます。) 本研究助成を受けることによって、国内外学会における研究報告パネル組織や学術誌投稿準備を当初の計画通りに進めることができ、科研基盤B採択に繋げることができました。とくに、研究費が不足しがちな海外及び若手研究協力者へ研究費を使用できた点がありがたかったです。			

成果の概要/大野美紀子

研究内容

東南アジア大陸部の在外ベトナム人(越僑)コミュニティ史研究を進めるため、その重要資料である京都大学東南アジア地域研究研究所が保存する「漢文字喃 チュノム 経典等資料」(別名:景福寺資料群)について、仏教寺院が仲介するモノとヒトの流通史を焦点とした資料学研究を進めた。

①景福寺資料については、2018年から5次に渉る国内共同調査で、料紙の物性調査と一部資料の字喃テキスト分析を行ってきた。その調査成果報告を1. 日本・タイ・ベトナムの共同研究者7名が集まり、国際会議 The International Convention of Asia Scholars (ICAS12)において、上記資料研究の経過報告パネルを組織した(京都精華大学主催、8月26日オンライン開催、<https://site2.convention.co.jp/icas2021/programme/>)。2. 12月5日東南アジア学会第103回研究大会において国内共同研究者5名及びコメンテーター3名による報告パネルを組織した(<https://www.jsseas.org/%e6%ac%a1%e5%9b%9e%e3%81%ae%e6%a1%88%e5%86%85/>)。

②12月27-28日第6回景福寺資料共同調査会を東南アジア地域研究研究所において開催し、資料学・仏教学など研究者9名が参加した。

研究成果

①海外共同研究者 Thanathip Sripana 氏が ICAS12 報告内容を加筆した『『ベトナム人と安南派仏教(アンナムニカーイ)の来泰、およびラッタナコーシン王朝初期におけるワット・サマナーナムボーリハーンの建立』(西田昌之和訳)を日 ASEAN Working papers No.13 として本学リポジトリ KURENAI で公開した。

②国内学会研究大会パネル報告内容を加筆修正し、学術誌(和文)へ投稿した。

③景福寺資料の資料目録編集と資料デジタル化がほぼ終了した。

今後の見通し

本研究助成を受けることによって、国内外学会における研究報告パネル組織や学術誌投稿準備を当初の計画通りに進めることができ、今年度科研基盤 B 採択に繋げることができた。今年度の計画として、①本研究助成期間中に進めてきた各論考の和文誌掲載、②景福寺資料のデジタルアーカイブ公開を目指して準備する。また、コロナ禍終息後に予定しているタイ東北部・ベトナム南部・ラオスの越僑故地仏教寺院・同郷会館などへの調査のために、華字紙・冷戦期外交文書等を使用して越僑関連資料を抽出し基礎データを集約する。